

長浜市高齢者福祉施設個別施設計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

- ・意見募集期間 令和8年6月24日（水）から令和8年7月31日（金）
- ・意見提出方法 電子申請フォーム、電子メール、郵送、ファクシミリ又は窓口
- ・意見提出者 3名：3件
- ・意見の概要と意見に対する市の考え方

連番	記載頁	意見概要	意見に対する市の考え方
1	30・52	浅井福祉ステーションは土砂災害警戒区域内に立地しており、高齢者の命を預かる施設として危険性が高いことに加え、広域農道沿いにあるため送迎車への煽り運転やクラクションといった交通リスクも見受けられます。 また、耐用年数34年に対し29年目ながら、過酷な自然環境により実態はより老朽化しており、冬場は暖房が効かず寒く、騒音で会話も聞き取りにくい状況で、長年の利用者からも他施設への移行を望む声が出ています。 こうした状況から、高齢者の命と市の福祉行政への信頼を守るため今年度中の廃止に大賛成であり、8～9月に計画を公表して近隣（東部・虎姫・湖北など）のデイサービスへの受け皿を円滑に確保したうえで、降雪前の10月末をリミットとする早期廃止を求めます。	本施設の立地や環境について、利用者の安全・安心の観点からご懸念をお寄せいただいたものと受け止めております。 本施設については、令和8年度中の早い段階での廃止に向け、全ての利用者とそのご家族が安心してサービスを継続できるよう、指定管理者とケアマネジャーと連携し、受け皿の確保に丁寧かつ迅速に取り組んでまいります。
2		施設の老朽化・人口減少・財政課題を踏まえた再編の必要性は理解した上で、高齢者福祉施設が健康で安心な暮らしを支える拠点として機能することを期待します。 改修時にはトイレの洋式化や手すり設置など安全な環境づくりを進め、福祉ステーションでは介護予防・医療・がん検診・終活・災害対応等を学べる講座の開催を望みます。畑仕事の多い地域柄、熱中症・転倒予防など地域の実情に応じた情報発信も必要です。 また高齢者にとって新聞は大切な情報源であり、広報紙に加え新聞も活用してほしいと考えます。福祉ステーションが地域の健康づくりと交流の拠点としてさらに充実することを期待します。	高齢者福祉施設が健康で安心な暮らしを支える拠点として重要であるとの認識は市も同様です。 今後も施設の安全・快適な環境づくりに努めるとともに、多様な媒体を活用した分かりやすい情報発信に取り組んでまいります。

3	30・52	浅井福祉ステーション（デイサービスセンター）の廃止方針に強く賛成した上で、「2026 年度中」という時期を前倒しし、降雪期を迎える前の早期閉鎖を強く要望します。 理由は、自力避難が困難な高齢者が集まる施設が土砂災害警戒区域内に立地し危険であること、暖房が効きにくく冬期の健康被害があるうえ、降雪量が多い地域でありながら前面道路は大型トラックの往来が激しく送迎・移動に重大な事故リスクがあること、さらに一人暮らしで遠方に家族を持つ利用者にとって代替施設への移行手続きが本人・家族双方に大きな負担となることです。 利用者の命と健康、家族の負担軽減を最優先に、2026 年 12 月末までに全利用者を安全な代替施設へ移行完了させ速やかに廃止するとともに、行政主導で手厚い移行サポートと明確なスケジュール提示を行うことを強く求めます。	廃止の時期につきましては、利用者やご家族が安心してサービスを継続できることを最優先に、代替施設の受け入れ状況や関係機関との調整を踏まえ検討を進めてまいります。 本計画策定後すみやかに、指定管理者と連携して情報の提供と丁寧な支援に努めてまいります。
---	-------	--	---